

令和4年度第2次補正
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

探究的な学び支援 補助金2023

効果報告レポート

【事業者名】

ゼッタリンクス株式会社

【サービス名称】

こどもSuite

【サービスの機能分類】

区分B メインツール

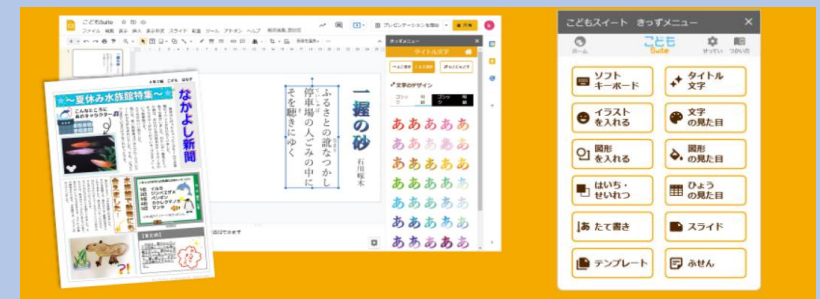
2024年1月

Google Workspace for Education を

授業でフル活用 するための 必須アドオン

こどもSuite[®]

こどもスイート



■探究学習等サービスの概要

●「こどもSuite」の概要

Google Workspace for Education を学校現場で最大限活用するための必須アドオンツールです。

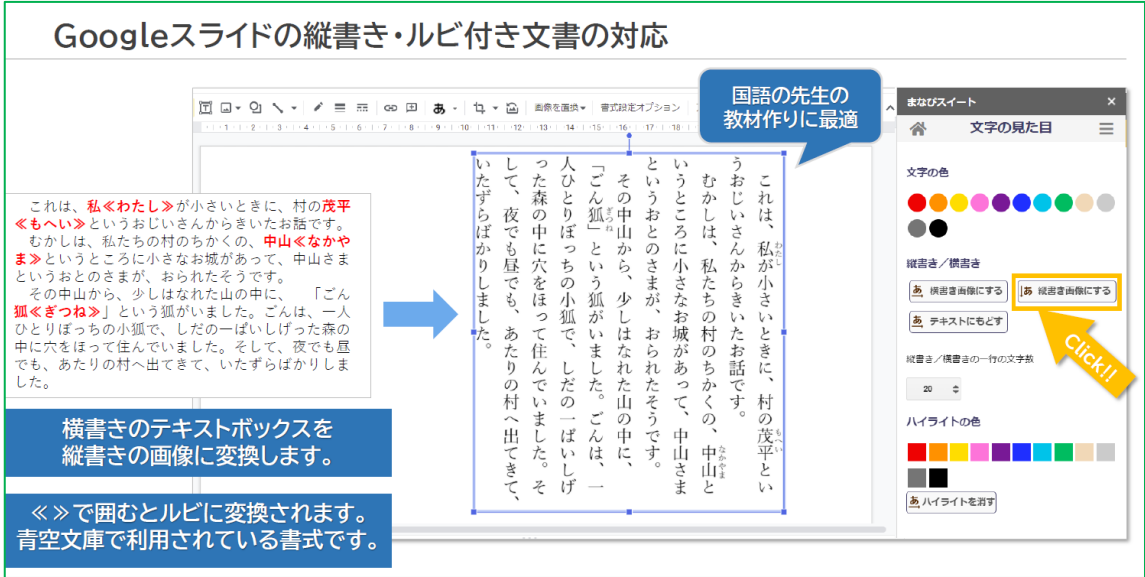
●特長

①Google Workspaceでは対応していない日本語特有の縦書き・ルビ付きの文書を作成することができます。

②ICTに不慣れな児童でも操作しやすいようにソフトウェアや児童向け操作メニューを用意しています。Googleスライドの文字の装飾やタイトル文字の設定などが簡単におこなえます。

③協働学習・探究学習で有効な付箋機能が搭載され、即座に付箋の内容を集計できます。

④教科・単元ごとに多数のテンプレートを用意され、新聞作りや、理科の実験結果をまとめてグラフ化できるテンプレートなど、授業の中でICT利活用を促進するためのコンテンツが充実しています



■探究学習等サービスの概要

●活用場面

- ①Googleスライド上で付箋作成機能が付いているので、協働学習や探究学習時に簡単に自分の考えを発信することができます。
- ②学級で、クラスメイトの意見や考えを集約する時に、ワンタッチでグラフ化したりテキストマイニングしたりすることができます。



●効果

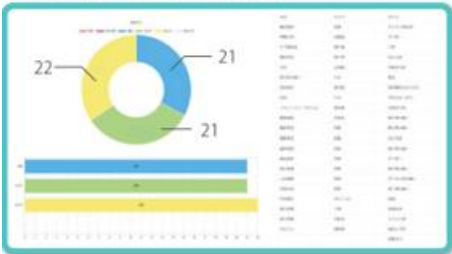
- ①かな入力が可能なソフトキーボードや、文字装飾メニューが搭載されているので、端末操作に慣れていない児童でも使いこなすことができ、ICT活用による児童・生徒の学習進度の差を埋めることができます。
- ②意見をすぐにグラフで比較することができるため、授業時間を最適化できるとともに、データを可視化して比較することでより深い学びにつなげることができます。

誰もが簡単に操作できる！

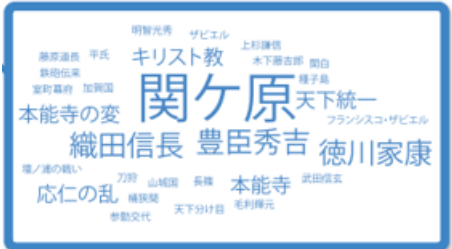
それぞれの考えがすぐにグラフで比較できる！



グラフ化&テキスト抽出



テキストマイニング



● 課題

GIGAスクール構想で一人一台端末の導入は果たされましたが、実際には各学校間や各児童・生徒の間でICT利活用の差が広がっております。スムーズに協働学習や探究学習を進めるためには、生徒・児童がタブレットが容易に操作できる必要があります。そこで、この課題を克服するための方策として本ツールが有効であるかについて、下記の3点について検証を行います。

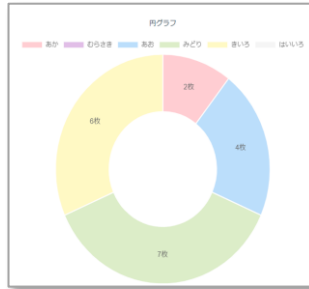
- 検証1：操作に不慣れな児童でもICTを有効活用できるように操作性をわかりやすくシンプルにした操作支援ツールを提供し、授業の中で活用できるかの検証を行う。
- 検証2：縦書き・ルビ振り機能等を用いて、Googleアプリを日本語環境に近づけられるかどうかの検証を行う。
- 検証3：ICTの特性を活かして協働学習に展開できるような付箋機能を通して、実際の授業の中での効果とより深い学びにつなげることができるかの検証を行う。

■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

● 課題1 協働・探究学習時の「ふせん」の効果的な利用

→ 本サービスの「ふせん」機能で代替すると同時に、さらに発展的な利用につながった。

ユーザーが多いJamboardですが、2024年9月にサービス終了となることが発表されました。こどもSuiteには、もともと「ふせん」機能が搭載されていたため、結果的に多数授業内で利用していただけました。Jamboardとは違って、ふせんの集約だけでなく「集計」や「テキストマイニング」が可能なので、協働学習や探究学習において有効だということを理解していただいたうえで、利活用が進みました。



あか	むらさき	あお	みどり	しろ
生徒が自分の字に誇りを持つようにする		海にごみをすてない	ゴミは分別してゴミ箱に捨てる	リサイクルできるものは捨てない
		海や川によこれた液体を流さない	なるべく公共交通機関を使う	食べるだけを買う
		河原や浜辺をきれいにする	自然の木や草花を取らない	必要以上に買わない
		u	生き物を大切に育てる	マイバックを持ち歩く
			二酸化炭素をあまり出さない服や物に集る	ペットボトルではなく水筒を持って行く
				調味料の近いものから食べる

※諸事情により、現場での撮影ができなかったため画像は研修時に提示したサンプルです。

● 課題2 児童端末の利便性の向上

→ 本サービスの「縦書き」「文字スタイル」「ソフトキーボード」機能を用いて、児童のアウトプット時の負担を軽減。
 ※詳細は、P.7をご参照ください。

利用実績 (P.7) がらも分かるように、児童の「縦書き」利用率が高かった。これまではGoogle Workspace内では縦書きができなかったため、Google Workspace以外のアプリで縦書きを作り、画像にしてからGoogleアプリに貼り付ける必要がありましたが、本ツールの縦書き機能を使うことによってGoogle Workspace内で完結できるようになり、児童のアウトプットの一助となりました。

学校等教育機関名：八戸市教育委員会（青森県八戸市内丸1-1-1）

学校数：小中学校 65校

利用者数（児童・生徒）：15,974名

学校等教育機関名：学校法人大阪初芝学園（大阪府堺市東区西野194-1）

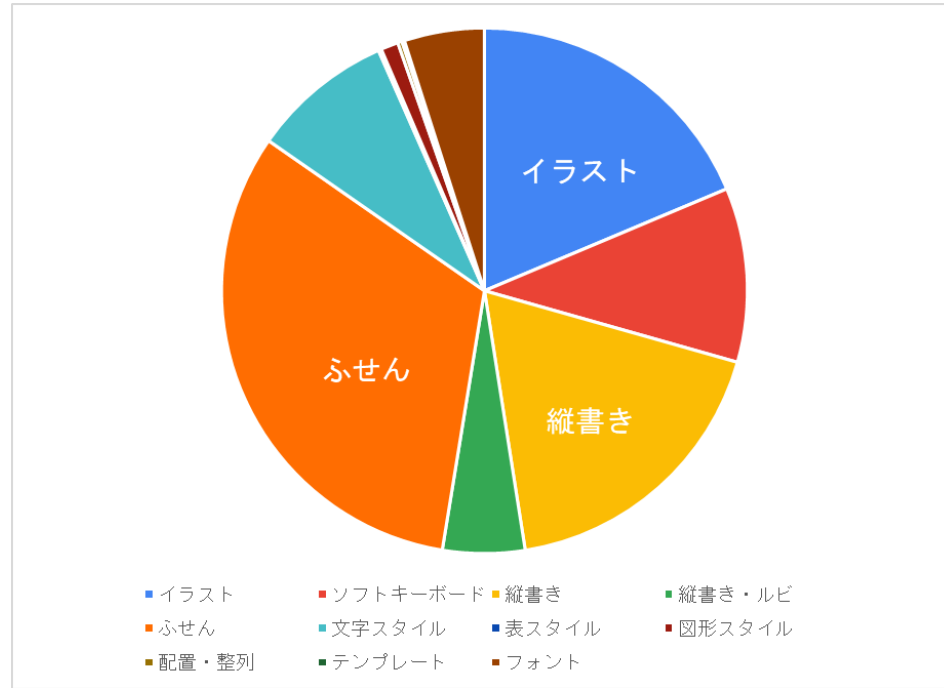
学校数：高等学校 1校

利用者数（生徒）：1,146名

● こどもSuite機能別利用数 (八戸市：12月度利用歴)

八戸市立小学校41校

総アクセス数	7798
総利用数	5703
イラスト	1064
ソフトキーボード	612
縦書き	1034
縦書き・ルビ	288
ふせん	1831
文字スタイル	497
表スタイル	11
図形スタイル	61
配置・整列	15
テンプレート	9
フォント	281



1位：ふせん機能

スライド上で簡単にふせんが作成でき、結果を集計できるのが特長。Jamboardのサービス停止のニュースを受けて利用が高まったと思われる。本サービスで協働（探究）学習時の利便性が高まった。

2位：イラスト

フリーで使えるイラストが約2000種類収録されている。季節や動植物などのイラストをはじめ、地図記号などの授業で使えるイラストなので、利用率が高い。児童のOUTPUTの一助となった。

3位：縦書き

Google Workspace上では縦書きができないので、特に国語の授業で使われている。

4位：ソフトキーボード

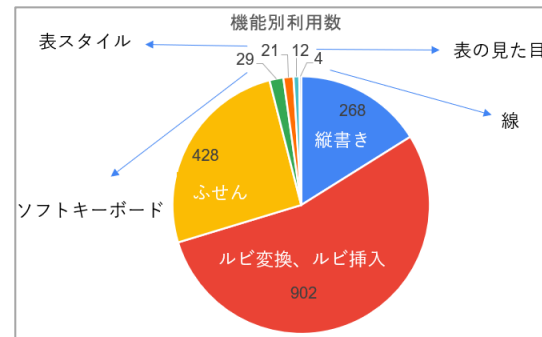
ローマ字入力が難しい低学年の利用があったと思われる。

5位：文字スタイル

サイドバーに、文字装飾機能の一覧が表示されているため小学生でも使いやすい。

※類似機能を付与した教員については、右記の通り。

児童に文書を配付する際の、**ルビ振り**に使われていた。次に**ふせん**、**縦書き**の順であった。



■サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

●先生方のITスキル格差に対応

1.とにかく簡単に

先生方のICTスキルにはかなりのバラツキがあるので「初心者」にも分かるような説明会を実施。八戸市においては初回の説明会の内容が難しかったというご意見をいただいたので、2回目以降は機能そのものの使い方に加え各種Googleアプリや拡張機能の開き方から丁寧に説明しました。さらに、急遽初心者向け説明動画も作成した結果、十分に理解していただきました。

2.説明動画を活用

先生方全員の予定がそろうことはないので、参加できなかった先生方のため、また説明会では伝えきれなかった内容を理解していただくため、5分程度のマニュアル動画を項目ごとに作成し視聴していただきました。

先生方共有のClassroom内で
情報共有



研修資料



各種研修動画



■サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

● 操作法説明時（サービス利用前）の教員の皆さまの感想

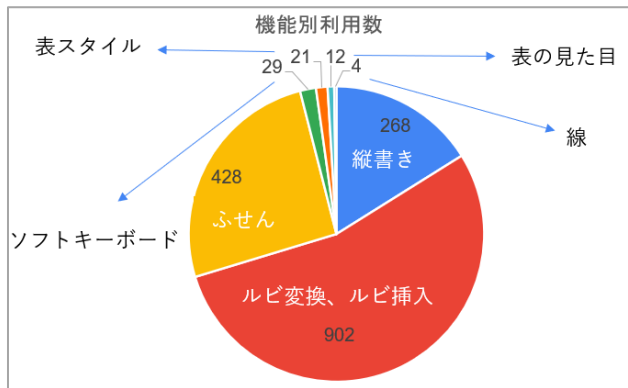
- ・ 文章の縦書きや動画の挿入、付箋機能をつかわせていただこうと思いました。
- ・ 付箋についての内容を集計できるのは助かります。
- ・ ジャムボードの代わりになるものを知れて良かった。
- ・ 便利な機能が豊富にあったので授業作成の効率化が期待できると感じました。
- ・ 便利なツールを利用することで探求授業等に大いに役に立つと感じた。
- ・ ふせんの集計機能をぜひ使ってみたいです。
- ・ 私の教科は「体育」で、普段あまりパソコンやICTを活用する授業を行ってこなかったのですが、今回説明していただいたSuiteツールは簡単に利用でき体育の予習・復習などにも応用できると感じました。専門は「ダンス」なので、イメージしたものを言語化し見ることができるので、創作ダンスのイメージ共有にも使ってみたいです。いろいろ試してみて、もっと授業の幅を広げていくために利用してみたいと思いました。
- ・ 探究型の授業を考えるきっかけになりました。ありがとうございます。

● 使ってみたい機能

- 1位：40票 ふせん（ふせん集計含む）
- 2位：19票 縦書き・ルビ
- 3位：11票 タイトル文字（文字スタイル）

● 実際の利用率

- 1位：ルビ変換、ルビ挿入
- 2位：ふせん
- 3位：縦書き



アンケート回答者が小学～高校教員が混在のためばらつきがありましたが、ふせん機能については、多数利用していただく結果となりました。

● サービス利用後の教員の皆さまの感想

- ソフトキーボードについて
 - ・ 小学校1年生のタブレット利用を促進するのに役に立った。
- 付箋機能について
 - ・ 投稿だけでなく、集計ができるのが良いと思いました。
 - ・ 今までしたことがなかったが、今後はテキストマイニングを活用してみたいと思いました。
 - ・ Jamboardの代替として使えることは理解しているが、24年のサービス終了（Jamboard）までいろいろなアプリを試す予定。
- 縦書き
 - ・ Google Workspace内で完結するのは良い。
 - ・ 入力時も縦書き表示があるとさらに良いと思う。
- ルビ振り機能
 - ・ 学年別の未習漢字を自動でルビを振れるのは便利だった。
- 研修動画
 - ・ ショート動画は役に立った。
- その他
 - ・ こちらの希望する新規テンプレート作成に応じてくれてありがたい。

現場の先生方がとにかく多忙で、全体研修の実施時期が遅くなってしまったにもかかわらず、多くの方に短期間で使いこなしていただきました。

●会社概要

会社名 : ゼッタリンクス株式会社

代表者 : 代表取締役 山田 邦裕

所在地 : 東京都荒川区西日暮里5-14-4 KYビル5階、6階

設立 : 2011年（平成23年）7月1日

資本金 : 1490万円

従業員数 : 25名（アルバイト等を含む）

主な商品サービス : 授業支援アドオン「Suiteツール」「こどもOffice」

授業支援ソフト「リモコン倶楽部Z」、環境復元ソフト「リカバリー王Z」

授業収録ソフト「ThinkBoard」、テスト採点支援ソフト「Answer Box Creator Z」

プログラミング教育ソフト「Sotaとはじめるプログラミング」、ICT支援員サービス

ホームページ : <https://www.zettalinx.co.jp/>

問合せ先 : お問い合わせフォーム <https://www.zettalinx.co.jp/contact/inquiry/>

（ホームページのメニュー「お問い合わせ・資料請求」>「お問合せ」のお問合せフォームよりご連絡ください）